

原田市長の

散歩道

さんぽみち



7月下旬に全国市長会の企画で、オランダとチェコへ「街づくり、福祉、教育」の行政研究に行った。

訪問先の会議で進行役を務めたが、言葉が全く異なるので、通訳を頼りの会話になり、始めのころは、随分もどかしい思いがした。

しかし、お互いに理解しやすい表現を使い、分かり合おうとする意識も働くので、会議の終わりごろには、双方の身振り・手振りも板について言葉がほとんど分からなくても、相手の考えがおおよそ推測できるようになった。

国際交流について、言葉の違ひは、やっかいなことだが、お互いに近づこうと思つて様々な方法で努力すれば、その壁も乗り越えられることを改めて感じた。

オランダでは、環境や健康にまつて、車より自転車の方が優れているという自転車生活を中心とした街づくりをしている市も多い。国民一人当たりの自転車の保有台数は1.5台で、日本の約2倍もある。訪問したハウテン市は、人口5万人の新

「オランダとチェコを訪問して」

しい市で、街全体に自転車専用道路が張り巡らされていた。車を使うと目的地に行くのに大回りになり、自転車の方が早く、安全に着けるように街を設計することによって、市民が自転車優先生活へ誘導していた。風車を回すほど風が強く、冬は一面凍結して寒いこの国に比べれば、年中

暖かい袋井市では、市民の意識が醸成し、インフラを整えば、自転車優先生活も可能かもしれない。次に訪れたチェコの教育関係者との懇談で、約20年前に社会主義から民主化されたにも関わらず、現在の教育理念が「民主主義の徹底」と聞いて、戦後の日本の教育の柱が「平和」であったことを思い出した。

社会体制が変わっても、新しい価値観が市民生活の中に根付くまでには、長い歳月と努力が必要になる。戦後の日本で、平和な国づくりを目指して、教育関係者をはじめ、多くの先人がこつこつと積み上げてきた結果が、今日の平和と社会の礎になっていることを忘れてはならないと思う。

季節の健康レシピ

大きな団子で 食べごたえ満点! 『毎月19日は、食育の日』

さつまあんの月見だんご

●材料(5人分)

- サツマイモ …… 200g
- 砂糖 …… 大さじ2
- 塩 …… 少々
- 白玉粉 …… 120g
- 上新粉 …… 40g
- 水 …… 135ml
- きな粉 …… 適量

●作り方

- ①サツマイモは、皮をむき、1cmの輪切りにしてゆでる。ざるに取り、熱いうちにつぶして、分量の砂糖、塩をまぜ、10等分に丸める。
- ②ボウルに白玉粉と上新粉を入れ、水を少しずつ入れながら混ぜ合わせ、かための生地を作る。
- ③②の10分の1量を熱湯で2・3分ゆでる。ゆであがったら熱いうちに②に戻し、良くこねて、棒状に伸ばしたら、10個に切り分ける。
- ④③を丸くだんごにして、直径5cm大の椀状に伸ばし、①を入れて包む。
- ⑤たっぷりの熱湯に④を入れて、浮き上がってから3分ゆでる。水気をきり、きな粉をまぶし、器に盛る。

●栄養価(1人分) エネルギー310kcal/たんぱく質6.0g/脂質2.0g/カルシウム109mg/鉄1.8mg/ビタミンC16mg/食物繊維1.9g/塩分1.5g

●薬膳まめ知識 あんに使うサツマイモは、胃腸の働きを助け、体を動かすエネルギーになります。



表紙のことは

8月6日、袋井消防署で、袋井消防本部管内6つの小学校から少年消防クラブ員70人が参加して、「少年消防クラブ」消防体験学習が行われました。

参加した児童たちは、指令室や消防車・救急車を見学したり、はしご車体験で、地上20mの高さを体験したりしました。

特に、消防服に興味津々の様子で、消防服の機能を質問したり、実際に着たりして、消防士の仕事を学びました。



■市民の動き(平成22年8月1日現在)
人口/86,889人(前月比+43人) 世帯数/30,898世帯(前月比+14)

袋井市の木・花・鳥(平成22年5月16日制定)

市の木:キンモクセイ



庭木として多くの家庭などに植えられ、広く親しまれています。秋にはオレンジ色の花が咲き、甘い香りが漂います。

市の花:コスモス



秋になると、市内各地で彩り豊かなコスモス畑が見られます。可憐で美しく親しみやすい花です。

市の鳥:フクロウ



鎌倉時代の遺塵和歌集の中でも「袋井」に掛けて詠まれるなど、歴史的な関わりが深く、市名と語感的にも類似していることから親しみを感じる鳥です。